

第16回 災害対策本部員会議の概要

日時 令和元年11月8日（金）
9時00分から9時15分まで
場所 県庁3F 第一応接室
災害対策本部総務班

9時00分開会

【西島防災危機管理監】

- 対応状況を報告。
(資料を基に説明)

【盛岡地方気象台】

- 今後の天候について
8日は高気圧に覆われて晴れ。9日と11日は低気圧の影響により一時雨となるが、天気の崩れは小さい見込み。

【各本部員等】

- 各部署及び関係機関の対応状況等について報告。
 - ・ 政策地域部長
中長期的な人的支援の状況については、必要数、確保数とも変わっておらず、引き続き、人的確保について調整していく。
 - ・ 環境生活部長
自然公園施設について、普代村と山田町の施設分の被災状況が明らかとなったため、資料に追加している。
 - ・ 保健福祉部長
り災証明書の状況について、大槌町で11月11日以降に開始される予定。
被災者生活再建支援法については、宮古市と釜石市で11月6日に適用が決定となった。
 - ・ 商工労働観光部長
商工関係の被害状況について、宮古市の被害額が明らかとなり、7億6千万円余となった。
その他、複数の市町において件数、金額の増があり、全体の件数及び被害額も増となっている。被害額については前回資料では6億2千万円ほどと報告していたが、今回の報告では14億円余となった。
観光施設については、大槌町の被害が明らかとなった。県計では22施設、1億7千

万円余となった。

・農林水産部長

被害額は、農林水産業全体で93億円余となっている。

農業関係は、被害状況の把握は山を越えたが、被害額の算定についてはこれからとなる。被害額は全体で18億円余となっている。

林業関係は、まだ調査が必要な部分が残っており、引き続き調査を進めていく。被害額は48億4千万円余となっている。

水産関係は、漁港施設についてはほぼ被害状況の調査が終了し、金額についてもほぼ固まった。一方で、定置網、養殖施設については、引き続き、調査を進めていく。

・県土整備部長

早期復旧に向けた市町村支援の状況について、県職員3名が現地における技術指導を実施。11月6日に山田町、7日に田野畑村、8日に普代村で実施。

災害復旧技術専門家による指導については、11月12日に田野畑村において、全国防災協会の専門家などによる技術的助言が受けられるように支援を実施。

公共土木施設被害状況については、本日が国への修正報告の期限となっており修正があった。各箇所の新設や分割などの見直しにより、被害箇所数は16件増の1,011箇所となっている。被害額については、261億2,900万円と前回からの報告から39億9,800万円追加となっている。これをもって、国の災害査定に入っていく。

・教育長

施設等の被害額について精査したところ、中学校は前回報告の1,100万円余から5,400万円程度に増となったところ。県立の高等学校と特別支援学校については、合わせて4,000万円余と報告していたが、合わせて1,000万円弱となった。

【総務部長】

○ 対応方針を報告。

(資料を基に説明)

○ その他として、11月7日に県議会に対して台風第19号関連の補正予算を追加提案する旨説明したことについて報告。

【本部長（達増知事）】

陸上自衛隊、盛岡地方気象台の方には今日も出席いただき、感謝申し上げます。

発災から間もなく、1か月が経過しようとしているが、10月29日には、激甚災害に指定され、11月1日には山田町に対し、また、6日には、宮古市、釜石市に被災者生活再建支援法が適用されたところであり、被災市町村の災害対応は、復旧・復興に向かっている。

県としては、人的支援を促進し、被災者の生活再建支援や商工業・農林水産業の再開に向けた支援、道路・河川等の災害復旧に必要な経費を計上した199億円余の補正予算を来週11月11日（月）に議会提案すべく準備を進めているところ。

また、国の被災者の生活と生業の再建に向けた対策パッケージが示されたことから、国の支援策を積極的に活用して、被災地の早期の復旧・復興を進めていきましょう。

引き続き、市町村と一体となって、被災者の生活再建を支援するとともに、被災地域の復旧・復興に向けた取組を進めていきましょう。

現地は気温も低くなってきて大変だと思うが、広域振興局においては被災の現場に寄り添うような形で対応をお願いしたい。

9時15分閉会